

## 競技会で使用する略語・略号

記録用紙、電光掲示盤等への表記は、下記の略号等を用いて簡潔に表記してください。

また、略語（略号）を使用する場合は、使用する略号一覧と説明等をプログラムに記載して観客、競技者に意味が分かるようにしてください。

\*スタートリスト・リザルトにも可能であれば必要な略号と説明を記載してください。

略号	日本語表記	読み / 意味
WR	世界記録	World Records
=WR	世界タイ記録	Equal World Records
WIR	室内世界記録	World Indoor Records
=WI	室内世界タイ記録	Equal World Indoor Records
WJR	ジュニア世界記録	World Junior Records
=WJ	ジュニア世界タイ記録	Equal World Junior Records
WJI	室内ジュニア世界記録	World Junior Indoor Records
=JI	室内ジュニア世界タイ記録	Equal World Junior Indoor Records
NR	日本記録	National Records
=NR	日本タイ記録	Equal National Records
NI R	室内日本記録	National Indoor Records
=NI	室内日本タイ記録	Equal National Indoor Records
NJR	ジュニア日本記録	National Junior Records
=NJ	ジュニア日本タイ記録	Equal National Junior Records
NJI	室内ジュニア日本記録	National Junior Indoor Records
=IJ	室内ジュニア日本タイ記録	Equal National Junior Indoor Records
GR	大会記録	Game Records
=GR	大会タイ記録	Equal Game Records
NM	記録なし	No Marks
DNS	欠場	Did Not Start
DNF	途中棄権	Did Not Finish
DQ	失格	Disqualified
Q	順位による通過者	Qualified 備考②参照
q	記録による通過者	qualified 備考③参照
R	救済および審判長等の決定による	Relief or Referee Decided
○	成功（有効試技）	Cleared
×	失敗（無効試技）	Failed
—	パス	Pass
/	試技放棄（離脱）「スラッシュ」	

**\*備考**

① 大会記録の表示は、大会の規模や性格により表現が異なるため、国内大会では従来のとおり大会記録（GR）を使用して下さい。

ただし、国体や国際大会など競技運営システムで対応可能なものについては、下記の略語（例）などで対応をお願いします。

例) 国体 【 GR: Game Records 】、日本選手権 【 CR: Championship Records 】  
スーパー陸上 【 MR: Meet Records 】

② 「Q、q、R」について

**1)トラック競技の場合（例 3組2着+2）**

Q: 各組2着以内の競技者 -----> Qualified by place

q: 3着以下で、記録が上位の競技者2名 -----> qualified by time

R: 救済および審判長等の決定により次ラウンドに進出させた競技者

**2)フィールド競技の場合**

Q: 予選通過標準記録突破者 Qualified by pre-set standard

q: 規則第180条13による決勝進出者 qualified as per rule 180 - 13

R: 救済および審判長等の決定により次ラウンドに進出させた競技者

\* 予選通過標準記録を突破した競技者が12名に満たない場合、決勝進出者を12名とすることから、予選通過標準記録突破者に（Q）を、規則第180条13による決勝進出者に（q）をつける。

③ 失格の理由等は、略号等を使用して表記して下さい。その略号は、主催団体に決めてかまいません。

**失格の理由を示す略号（例）**

略号	内 容	R u l e s
FS	不正スタート	R162-7
T1	他の競技者を妨害した	R163-2
T2	他のレーンに入った	R163-3(a)
T3	縁石のうえ、内側ライン上またはその内側を走った	R163-3(b)
T4	ブレイクライン手前でレーンを離れ内側に入った	R163-5
T5	競技者がトラックから勝手に離脱した	R163-6
T6	ハードルを越えなかった	R168-7
T7	足又は脚がハードルをはみ出してバーの高さより低い位置を通った	R168-7(a)
T8	故意にハードルを倒した	R168-7(b)
R1	テイク・オーバーゾーン内でバトンパスが完了しなかった	R170-7
W1	ロス・オブ・コンタクトで3名以上が赤カードをだした	R230-6(a)
W2	バント・ニーで3名以上が赤カードをだした	R230-6(a)
W3	ロス・オブ・コンタクトとバント・ニーで3名以上が赤カードをだした	R230-6(a)
W4	ロス・オブ・コンタクトで競歩主任が単独で失格にした	R230-3(a)
W5	バント・ニーで競歩主任が単独で失格にした	R230-3(a)